



# 南中学校だより

令和8年6月1日(月)  
東松山市立南中学校長  
栗田 秀人

【学校教育目標】心を磨き 本気で学び たくましく

第3号

【目指す学校像】生徒一人一人が生き生きと輝き存分に躍動するとともに、家庭・地域と信頼の絆で結ばれる学校

## 体育祭開催 競い合うことの是非

5月28日(木)は令和8年度体育祭でした。あまり気温が上がりすぎることがなく、予定通り行うことができました。東松山市教育委員会教育長 吉澤 勲 様を始め、多くのご来賓の皆様にご来校いただきましたことに、また、PTA 本部役員の皆様はじめ多くの保護者の皆様にご協力を賜りましたことに感謝申し上げます。結果は別に示したとおりとなりましたが、南中の体育祭らしく、すべての生徒が何らかの形で体育祭に関わり、それぞれの場面で活躍することができていました。毎年のことながら、団長を中心とした各団のまともは見ている者を感動させるものでした。月並な表現ですが、勝利を信じて、団に所属するすべての生徒が思いを同じくして取り組む様子は他の行事には見られません。目指すところが同じであり、さらに、それぞれの生徒が、どこかの場面で活躍できる要素がある、そんな行事だからこそ素晴らしい取り組みが見られました。生徒の若い力に脱帽です。

さて、本校の体育祭では、各競技に加え団別総合成績を出しました。結果として「順位付け」を行いました。生徒は順位によって一喜一憂していました。この順位付け、「学校現場にとってはふさわしくない。」「生徒に競争をさせることを控えるべきだ。」という論調があります。このことについて、保護者・地域の皆様はどのようにお考えになるでしょうか。

あくまでも私見ですが書かせていただきます。南中学校の体育祭で順位を争うことに、大きな問題意識を持っていません。それは、次のような理由があげられるからです。

団練習開始の日に生徒にも話したのですが、南中の体育祭は、誰にでも活躍の場があります。決して勝利至上主義になっていたり、運動能力についての優劣をつける場になっていたりしません。勿論、体育祭という行事の性質上、運動の得意な生徒に活躍の場が多いことは事実です。一方で、本校の体育祭には、B・C種目(玉入れ、長縄跳び、台風の目など)や応援合戦があります。B・C種目は練習の質や工夫で結果が左右されることが多い種目です。応援合戦はアイデアとまともが鍵だと考えます。審査には含まれませんが応援席での応援や3年生だけです。団旗に絵を描くことなどは絵が得意な生徒の活躍の場です。どこかに活躍の場がある、そんな体育祭になっています。そして、私が見てきた3年間は、体育祭が終わった後、たとえ負けても「悔しいけれど頑張ったよね。」と互いに称え合う場面が見られました。「学級と学年の和、仲間と団結する力を育てる」という体育祭の目標は満たしていると考えます。

視点を変えます。体育祭における勝敗をつけることの是非について調べてみると、行きついた文章の一つで、ギリシャ哲学の「アゴーン」と「コイノーニア」を例に説明されていました。「アゴーン」とは「競争」「競技」「争い」を意味するギリシャ語で、古代ギリシャにおいては、スポーツ競技や弁論大会などあらゆる場面で「アゴーン」として理解されていました。哲学の場も「アゴーン」の場で、互いの考えをぶつけ合う理性の競争の場である。「どちらかが勝つか」に加えて「よりよく論証できるのはどちらか」を試す場とされていました。一方、「コイノーニア」は「共同体」「共有」「何かを共にすること」を表します。ギリシャ哲学では、この「アゴーン」と「コイノーニア」が共存する概念であり、ギリシャ哲学とは「共同体で語り合う中で、理性の競争を通じて心理に近づこうとする営み」と考えることができるのだそうです。つまりその文献では、このギリシャ哲学の発展を例にとりながら、「勝利至上主義的な競争」はふさわしいものではないが、成長を目的とした『共同体』として共に高めあうための競争は良いのではないかと結論づけていたのです。

南中の体育祭は学校をあげての年間の最大行事の一つであり全校生徒で取り組みます。生徒それぞれの活躍の場がある程度確保されています。つまり、「共同体」としての南中で、共に高めあうための競争の場が体育祭である、そう捉えることができます。本年度の体育祭も結果としての勝敗がつきました。その競い合いの中で、南中という共同体を構成する生徒達が、互いに高めることができた、と解釈できると考えます。したがって、南中学校の体育祭の競い合いは是である、と捉えられますがいかがでしょうか。

### 団別総合

学年	1位	2位	3位
	オレンジ団	青団	ピンク団
1年	7組	6組	4組
2年	3組	1組	2組
3年	3組	2組	4組

### 応援の部

学年	最優秀賞	優秀賞
	緑団	ピンク団
1年	5組	4組
2年	4組	2組
3年	6組	4組



## 全日本中学生通信陸上競技埼玉県大会比企地区予選会

(5月14日(木):東松山陸上競技場)

男子	2年 100m 5位 1500m 7位 4×100m R 4位	3年 100m 8位 3000m 4位	800m 3位 110m H 4位
	走幅跳 1位 (5m89)	5位	6位
	砲丸投 2位 (10m31)	3位	6位
女子	1年 100m 5位	2年 100m 3位 (14.16)	4位
	3年 100m 2位 (13.36)	8位	200m 8位
	800m 7位	1500m 1位 (4.47.31)	2位 (4.50.19)
	100m H 2位	3位	
	4×100m R 3位	走高跳 2位 (1m45)	
	走幅跳 2位	5位	砲丸投 8位
		6位	

※ 下線は県大会出場



怪我で一年生の種目に出場できなかった3年生のA君に代わって出場しました。学総補助員として期待しています。

## イライラ・モヤモヤアンケートの実施

(5月22日(金):各教室)

本校では生徒の担任への悩み事相談の場の一つとして「イライラ・モヤモヤアンケート」を年5回実施しています。今年の第1回は5月22日(金)の朝読書の時間に実施しました。日々の生活の中で先生に相談したいことを記入します。「あなた自身が望めば先生達は相談にのり、必要であれば解決に向けて力を貸すことができるので、安心して記入してください。友達が何を書いたのかを詮索することは絶対にしません。」ということ必ず確認してアンケートを実施しています。多感な思いを持つ中学生が、このアンケートに思いをすべて書いてくれるとは思いませんが、生徒の悩みを少しでも良い方向に向けられることを願ってこのアンケートを実施しています。



## 教職員向け 「ミライシード」研修会

(5月12日(火)・21日(木):職員室)

本年度より新たに導入された学習用ソフト「ミライシード」の使い方について、教職員向けの研修を行いました。「ミライシード」は授業用のコンテンツや、生徒の自学・自習用のコンテンツなどが含まれる学習用ソフトです。生徒の自学・自習に関わっては、自身の学習履歴を確認できたり、間違いの原因を探りその解決のための補助問題に取り組むことができたりと、学習に活用しやすくなっています。また、今年から ICT サポーターが来校して直接指導していただけることになりましたので、疑問点について直接相談できる機会が増えました。各担当教員を通して、生徒にも使用方法等について説明があります。これまで以上に、活用できる幅が広がりましたので、保護者の皆様には、特に家庭学習で活用するようご助言いただきますようお願いいたします。



## 全校朝会講話 自転車の乗り方について(要約)

## 6・7月の予定

自転車の乗り方は本校の課題で、特に「並進」が大きな問題です。場所としては「農道」があげられます。農道は、交通量が少なく、大変見通しの良い道路です。それが理由なのか、2・3台の並進が見られ、道幅いっぱいに自転車が広がる様子が見られます。話をするために並列になるケース、前の自転車を追い越す時に横並びとなるケース。多くの場合に大きく膨らむことになり道路を塞いでしまいます。

「並進」は、隣どうしの自転車が絡んで転倒して怪我をする、また、倒れた際には後続の自転車や自動車に轢かれてしまう、そんな危険性もあります。

「並進」は危険です。南中生の安全・安心が守れるよう、自転車の乗り方についてそれぞれが考えてほしい、そんな話をいたしました。ご家庭でも是非、話題にしてください。

6	2	火	全校朝会
	4	木	生徒総会
	10	水	学校総合体育大会(～13日(土)・球技等)
	18	木	学校総合体育大会(陸上)
	22	月	学校総合体育大会(水泳)
	29	月	期末テスト(～30日(火))
7	1	水	3年実力テスト
	7	火	全校朝会
	9	木	3年生進路説明会
	10	金	生徒会専門委員会
	14	火	非行防止教室
	15	水	給食終了 大掃除⑥
	16	木	短縮日課3時間
	17	金	終業式
	20	月	祝・海の日
	21	火	夏季休業日